

知・技の創造

ものつくり大学発

▷94◁

人の特性の一つに「慣れ」があります。初めはおぼつかないこともあります。慣れるとスムーズにできるようになります。これは良い例なのですが、悪い例もあります。何かが便利になると初めの内はあります。これがたがうのですが、その便利さに慣れてしまつと、最初の感謝の気持ちが薄れてきてしまします。そして、急に不便になつたときには腹を立てたりします。元に戻つただけなから腹を立てなくても、と思うのですが、そうは行き

2023年
(令和5年)

9月8日

金曜日

高橋 宏樹 建設学科教授



「気がつく人」

たかはし・ひろき 順天堂大学体育学部卒。同大大学院修士課程修了後、東京工業大学工学部建築学科助手を経て2002年ものつくり大学講師。08年より現職。博士(工学)。

うのも大変です。眼鏡を使用している読者の方々は、眼鏡を掛けていることに気がつかず眼鏡を探した、という経験はありませんか。私はありの修得(つまり練習)のみで時間がかかります。気がつくことは案外大変なのです。ただ、何か気づくのは仕方がなくその一人です。その時今まで便利であったことに改めて気がづきます。

この「気がつく」ということは人には大事です。特に勉強でも研究でも趣味でもどんな場合でも、何か課題を解決しようとしているときにはどちらが日常的にはなかなか気がつきません。周囲の多くのものについても、きっかけがあると思います。とても大事だと思います。(二)ができる、というのが先の「悪い慣れる」という言葉がありますが、慣れるのも時間がかかるのです。そこで、慣れますが、慣れるのにも時間がかかるのです。そこで、慣れることは物まねからはじめます。ところが物まねはできません。周囲の多くのものについても、きっかけがあると思います。元に戻つただけなから腹を立てなくても、と思うのですが、そうは行き

か、と考えています。技能の修得には一般的に時間がかかると思います。もし物まねで済みでなければ皆同じ打ち方、能であつても、仕事中は技能があつるのは自分自身です。気がつくのは自分自身です。気がついたことをその人自身が自覺しなければなりません。自覺するためには自分自身あつてしまつ、という状況に陥ります。時間がかかるのは仕方がありません。なぜならば、人それぞれの修得(つまり練習)のみで時間がかかります。気がつくことは案外大変なのです。ただ、何か気づくのは仕方がなくその一人です。その時今まで便利であったことに改めて気がづきます。

か、と考えています。技能の修得には一般的に時間がかかると思います。もし物まねで済みでなければ皆同じ打ち方、能であつても、仕事中は技能があつるのは自分自身です。気がついたことをその人自身が自覺しなければなりません。自覺するためには自分自身あつてしまつ、という状況に陥ります。時間がかかるのは仕方がありません。なぜならば、人それぞれの修得(つまり練習)のみで時間がかかります。気がつくことは案外大変なのです。ただ、何か気づくのは仕方がなくその一人です。その時今まで便利であったことに改めて気がづきます。